

## 10. ワークショップ「数学ジャーナルの電子化および電子化後における諸問題とその解決に向けて」

日本数学会が共催して標記のワークショップが下記の次第で開催されました。図書館関係者、出版関係者を含む37名の出席がありました。

### 記

「数学ジャーナルの電子化および電子化後における諸問題とその解決に向けて」

日時： 2007年1月19日(金)

10:00 から 17:30 まで

場所： 東京大学数理科学研究科大講義室

主催： 北海道大学理学研究院数学部門

東京大学数理科学研究科

共催： 日本数学会 国立情報学研究所

京都大学附属図書館

東京大学附属図書館

東京大学情報基盤センター

プログラム：

10:00-10:20 経緯と主旨説明

10:20-11:00 「NII の研究成果発信支援」

村上祐子 (国立情報学研究所)

11:10-11:30 「Journal of Mathematical Sciences, the University of Tokyo の公開について」 東京大学情報基盤センター  
デジタルライブラリ係

11:40-12:00 「京都大学数理解析研究所講究録の公開について」 京都大学附属図書館

13:30-14:10 「日本数学会の数学文献電子化について」 戸瀬信之 (日本数学会・慶應大)

14:30-15:10 「ジャーナルの電子化 -- 東北数学雑誌の場合」 西川青季 (東北大)

15:30-16:10 「数学論文誌の電子化に関する技術の現状と将来」 鈴木昌和 (九州大)

16:20-17:30 質疑応答

以上

(出版委員 戸瀬信之記)